

ふしょうっこ日記

令和 7 年6月26日

「空気環境の調査」

学校では子供たちの健康を守るために、学校薬剤師さんに、定期的に教室の空気環境を検査していただいています。主な検査内容は、二酸化炭素濃度の測定です。教室内の二酸化炭素濃度が高くなると、集中力の低下や頭痛、眠気などの症状が出ることもあり、学習効率にも影響します。そのため、文部科学省は、教室内の二酸化炭素濃度を1500ppm以下に保つよう基準を設けています。

本日は、その検査の日で、3時間目に2年い組の教室で検査をしていただきました。長休みの終わり頃から教室に入り、検査の準備をされました。子供たちは、大きな注射



器のような検査機器に興味津々で、薬剤師さんにいろいろな質問をしていました。書写の学習が始まると、気になりながらも学習に向かい始めました。検査は、数分おきに何度か行われますので、1時間ずっと検査を続けておられました。休み時間には窓を開けて換気をしていたので大丈夫でしたが、窓を閉めて学習を続けていると、やはり二酸化炭素濃度が高くなってき

ました。換気は大事だと、改めて思いました。休み時間には、換気をしましょう。



照度検査もしていただきました。

